



あいさつ

このたび香川県立ミュージアムでは、春の特別展「自然に挑む江戸の超グラフィック — 高松松平家博物図譜」を開催いたします。

讃岐国高松藩を治めた高松松平家には、魚を描く「衆鱗図」、鳥を描く「衆禽画譜」、植物を描く「衆芳画譜」、「写生画帖」の四種十三帖の博物図譜が伝来します。その特徴は羽や鱗、葉脈といった細かな部分に至るまでの精緻な観察、盛上げや箔といった多様な技法の駆使による驚異的な描写力です。魚や鳥、草花に真摯に向き合い、その性質を絵の中に捉え込もうと挑んだ松平家図譜は、まさに江戸時代の超グラフィックといえるものです。

本展を通じて、高松松平家博物図譜の魅力をご堪能ください。

(平成 31 年 4 月 香川県立ミュージアム 館長 窪保彦)

(7101264898)